

## 宇部・山陽小野田消防局 実行計画（H24年度-H26年度）の検証

宇部・山陽小野田消防局 実行計画（H24年度 H26年度）は広域消防運営計画に掲げる「消防広域化の効果の早期実現」と宇部市、山陽小野田市の掲げる「安心・安全なまちづくり」を基本理念とし、「消防活動体制の充実強化」「消防体制の基盤強化」「消防行政運営の効率化」「火災予防の推進」「救急需要対策の推進」の5つの主要項目を掲げて平成24年度に策定し、事務事業を推進してきました。

これらの主要項目の成果の検証について、計画最終年度となる平成26年度末時点での成果目標の進捗状況は次の表のとおりです。

進捗状況 主要項目	達成できた 事務事業	未達成の 事務事業	その他 (注)	合計
消防活動体制の充実強化	4	0	0	4
消防体制の基盤強化	4	1	0	5
消防行政運営の効率化	2	0	1	3
火災予防の推進	0	1	0	1
救急需要対策の推進	2	1	0	3
合計	12	3	1	16
割合	75.0%	18.7%	6.3%	100%

進捗状況は事務事業評価シートによる「事業の達成度」を反映したもの。  
(注) 事務事業を進めた結果、取組実績(事務事業の達成度)がなかったもの。

主要項目ごとに取組を検証した結果は以下のとおりです。

### 01 消防活動体制の充実強化

#### 【成果の検証】

災害発生時における初動体制の強化など消防広域化の効果をあげ、市民サービスの向上を図ることを取組目標に掲げ、4つの事務事業を推進してきました。

#### 0101 現場到着時間の短縮

市境界付近の出動区域等の見直しにより、同地域の現場到着時間が広域化前から3分以上の短縮が図られました。今後は問題点、改善点を洗い出すとともに、情報指令課員のスキルアップを図り、119入電から指令までの時間短縮を目指します。

#### 0102 現場指揮体制の充実強化

災害現場を統括し部隊を効果的に運用する現場指揮体制の充実強化を図るため、指揮隊の運用開始と適正配置を行いました。引き続き指揮隊運用状況の検証を行うとともに、指揮隊の効果的な運用を図ります。

### 0103 出動車両及び部隊の適正配置

災害出動区域及び出動車両の基準を改正し、初動体制の強化を図りました。

### 0104 防災体制の充実強化

地震等の大規模災害時に初動体制の円滑化と活動までの時間短縮を図るため、災害活動計画を策定しました。今後は活動計画に基づく演習計画を策定するとともに、演習を実施し、各計画の見直し等を行う必要があります。

#### 【進捗状況】

各事務事業の進捗状況は、以下のとおりです。

事務事業	指 標	目標値	実 績	進捗率
現場到着時間の短縮	現場到着時間の短縮	3分	3分短縮	達成
現場指揮体制の充実強化	現場指揮隊	配置	2隊配置	達成
出動車両及び部隊の 適正配置	災害出動の出動区域 及び出動車両の基準	改正	改正済み	達成
防災体制の充実強化	災害活動計画	策定	策定済み	達成

#### 【継続する課題】

事務事業の進捗状況は、概ね目標達成できましたが、「指揮隊の効果的な運用」「大規模災害時対応計画に基づく演習計画の策定と演習実施」等については、今後も継続する課題として積極的に取り組んでいきます。



#### 【次期前期実行計画への反映】

課 題	前期実行計画	
	取組の方向性	施策（事務事業）
指揮隊の効果的な運用	現場指揮体制確立計画の策定と検証	火災防ぎょ体制の充実強化
大規模災害時対応計画に基づく演習計画の策定と演習実施	大規模災害時対応計画に基づく演習計画の策定と演習実施及び計画の見直しを行い対応力の向上を図る。	大規模災害時・特殊災害時活動計画等の整備

## 0 2 消防体制の基盤強化

### 【成果の検証】

消防広域化のスケールメリットを生かし、特殊消防用資機材の重複投資をさげ、高度な資機材の計画的かつ効率的な整備を取組目標に掲げ、5つの事務事業を推進してきました。

#### 0 2 0 1 高機能消防指令センター整備

旧宇部及び旧山陽小野田指令センターを高機能消防指令センターとして一元化するとともに、旧宇部指令センターを災害対策室として整備し、警防本部が迅速的確に意思決定できる環境を整えました。今後は消防指令センターの機能強化に取り組む必要があります。

#### 0 2 0 2 消防救急無線デジタル化整備

高機能消防指令センターの整備に合わせ、消防救急無線のデジタル化を実施しました。平成28年5月末の移行期限以降はアナログ設備の撤去について検討を進めます。

#### 0 2 0 3 消防用車両等整備

消防車両更新整備計画を策定し、老朽化した消防用車両を計画的に更新するとともに広域化のメリットを生かし重複車両等の削減を行い、適切な車両を配置しました。

#### 0 2 0 4 消防用資機材等整備

防火衣の経年劣化及び不統一を解消するとともに、新規採用者への配備を行うため、防火衣の仕様決定及び更新計画を策定し、計画に基づく整備を行いました。引き続き防火衣の更新を実施し、未配備の職員へ対応します。

#### 0 2 0 5 消防庁舎整備

宇部西消防署楠出張所の老朽化に伴い建替え等について総合的に検討をし、建設計画を策定しました。今後は宇部市との連携を密にし、円滑な事業の推進を図ります。

### 【進捗状況】

各事務事業の進捗状況は、以下のとおりです。

事務事業	指 標	目標値	実 績	進捗率
高機能消防指令 センター整備	消防指令センター	1 か所	整備済み	達成
消防救急無線 デジタル化整備	消防救急無線 デジタル化	運用開始	運用開始	達成
消防用車両等整備	消防用車両等	更新 8 台 削減 3 台	更新 8 台 削減 4 台	達成
消防用資機材等整備	新防火衣	180 着	176 着	97.7%
消防庁舎等整備	新宇部西消防署 楠出張所建設計画	策定	策定済み	達成

【継続する課題】

事務事業の進捗状況は、概ね目標達成できましたが、「消防指令センターの機能強化」「アナログ無線設備の撤去」「防火衣の整備」「宇部西消防署楠出張所の建替え」等については、今後も継続する課題として積極的に取り組んでいきます。



【次期前期実行計画への反映】

課 題	前期実行計画	
	取組の方向性	施策（事務事業）
消防指令センターの 機能強化	通信インフラの冗長化（バックアップ配置や多重化）、データのクラウド化等の検討の実施と報告との作成	消防指令センターの 充実強化
アナログ無線設備の撤去	デジタル無線への完全移行	
防火衣の整備と 消防用ホースの統一化	防火衣の更新計画に基づく整備と消防用ホースの統一化及び経年劣化に対応するため整備を行う。	消防用資機材の整備
宇部西消防署楠出張所の 建替え	宇部市と連携を密にし、円滑な事業（用地購入、設計、施工等）の推進を図る。	消防署所等の維持整備

## 03 消防行政運営の効率化

### 【成果の検証】

優秀な職員を確保するため、採用区分の見直しや定年延長等も視野に入れた方策を検討するとともに、職員一人一人のレベルアップを図るための教育や訓練を充実させ人材育成の強化を図り、事務分掌等を見直しスリムで効率的な組織体制を確立することを取組目標に掲げ、3つの事務事業を推進してきました。

#### 0301 採用計画の策定

多数の職員が定年退職（10年間に100人、職員の1/3）することに伴い、業務効率の低下や現場活動の経験不足が懸念されることから、新規採用区分及び再任用制度について検討を進め、採用区分の見直しや新たな再任用制度は確立しましたが、消防の職制上、長期的な採用計画の策定は困難であると判断しました。よって採用計画の策定については見送ることとし、今後は、再任用制度を積極的に活用するとともに、必要に応じて新規採用区分を検討し優秀な人材確保に努め、住民サービスの向上を図ります。

#### 0302 事務執行体制の効率化

事務分掌の見直しや効率化を図るとともに職員配置の適正化を行い、スリムで効率的な行政運営体制を構築するため、問題点の洗い出しと協議検討を重ね、規定改正等を行いました。引き続き事務の効率化を図る組織体制の検討が必要です。

#### 0303 人材育成の強化

職員の育成（教育・訓練）及び業務上必要な資格者の養成等を計画的に行い、職員一人一人のレベルアップ、行政サービスの向上を図るため、人材育成基本方針及び研修及び資格取得計画を策定しました。今後は計画に基づいて研修や資格取得を実施し、当消防組合に求められる職員を育成します。

### 【進捗状況】

各事務事業の進捗状況は、以下のとおりです。

事務事業	指標	目標値	実績	進捗率
採用計画の策定	職員採用計画	策定		
事務執行体制の効率化	組織、事務に関する規程	改正 整備	改正整備 済み	達成
人材育成の強化	研修等年度計画	策定	策定済み	達成

（注）「職員採用計画」については、消防の職制上、長期的な採用計画の策定は困難であり、策定については当面見送ったため、実績、進捗率についてはblankとする。

### 【継続する課題】

事務事業の進捗状況は、概ね目標達成できましたが、「事務事業効率化を図る組織体制の検討」「当消防組合が求める職員の育成」等については、今後も継続する課題として積極的に取り組んでいきます。



【次期前期実行計画への反映】

課 題	前期実行計画	
	取組の方向性	施策（事務事業）
当消防組合が求める職員の育成	研修の実施、振り返りを行い次年度研修計画に反映させ、当消防組合に求められる職員を育成。	人材育成の強化

## 0 4 火災予防の推進

【成果の検証】

住宅火災による死傷者や損害の低減を図るため、住宅用火災警報器の設置率100%を目指すとともに、既設置住宅に維持管理の啓発を行うことを取組目標に掲げ、事務事業を推進してきました。

### 0 4 0 1 住宅用火災警報器設置及び維持管理の普及促進

平成18年に住宅用火災警報器の設置が義務化されたことから、設置率の向上を図るとともに維持管理について啓発を行い、火災による被害の軽減を図ってきました。設置については概ね目標を達成しており、今後も啓発活動を継続します。

【進捗状況】

事務事業の進捗状況は、以下のとおりです。

事務事業	指 標	目標値	実 績	進捗率
住宅用火災警報器設置及び維持管理の普及促進	住宅用火災警報器設置率	100%	92%	概ね達成

【継続する課題】

事務事業の進捗状況は、概ね目標達成できましたが、「住宅用火災警報器の経年劣化と消耗品の寿命」については、引き続き継続する課題として消防関係講習会やイベント等において、啓発用チラシ等を配布し広報を行う等積極的に取り組んでいきます。

## 0 5 救急需要対策の推進

【成果の検証】

救急車適正利用の普及啓発、応急手当の普及及び傷病者の病院収容時間の短縮を図り、救命率の向上を目指すことを取組目標に掲げ、3つの事務事業を推進してきました。

### 0501 救急車の適正利用の普及啓発

軽症者の救急車利用が増加していることにより、重症者への救急車対応の遅延等が懸念されることから、救急車適正利用の普及啓発活動を実施し、救急搬送人員における軽症者の割合減少に効果が見られました。今後も引き続き普及啓発に努めます。

### 0502 応急手当の普及啓発

市民の救急講習受講者増加に対応するため、消防団員を応急普及員として養成し、消防団と協働して救急講習を実施しました。また、応急手当のさらなる普及を促進するため中学生を対象に救命入門コースを実施しました。今後も応急手当の普及啓発に努めます。

### 0503 救急搬送体制の円滑化

傷病者の病院搬送を円滑化し、救命率及び予後改善の向上を図るため、医療機関等と協働して対策を講じましたが、病院収容時間の短縮は図れませんでした。様々な協議を重ねる中で、平成27年4月から新輪番病院体制が開始されたことから救急搬送受入体制についての検証が必要です。

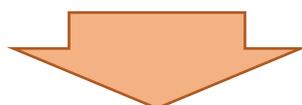
#### 【進捗状況】

各事務事業の進捗状況は、以下のとおりです。

事務事業名	指標	目標値	実績	進捗率
救急車の適正利用の普及啓発	救急搬送人員における軽症者の割合	減らす	1.2%減少	達成
応急手当の普及啓発	応急手当普及員養成	15人	33人	達成
	中学生に対する救急講習	200人	364人	達成
救急搬送体制の円滑化	病院収容時間	短縮する	2分延伸	未達成

#### 【継続する課題】

事務事業の進捗状況は、概ね目標達成できましたが、「病院収容時間の短縮」は図れませんでした。これを受けて「平成27年4月から新輪番病院体制が開始されたことから、救急搬送受入体制についての検証が必要」等については、今後も継続する課題として積極的に取り組んでいきます。



【次期前期実行計画への反映】

課 題	前期実行計画	
	取組の方向性	施策（事務事業）
平成27年4月から新輪番病院体制が開始されたことから救急搬送受入体制についての検証が必要。	地域医療協議会等で新輪番病院の体制について分析を行い、検証していく。	救急現場と医療機関の協働推進